

# 子育ての環境は抜群！ 国際モデルだって目指せるわよ。



尾木直樹 (おぎなおき)  
1947年生まれ。滋賀県出身。法政大学キャリアデザイン学部教授。教育評論家、臨床教育研究所「虹」所長。  
「子育てと教育は“愛とロマン”」をモットーに、大学で教鞭を執りながら、創造的な教育活動を展開中。  
テレビ出演も多く、優しい語り口と笑顔で「尾木ママ」の愛称で親しまれている。



「尾木ママ」の愛称で大人気の教育評論家、尾木直樹さん。  
優しい口調で、生きることの楽しさを語りながら、  
生きる勇氣を与えてくれる尾木さんの元気の秘訣は、この街にありました。

これまでに引越しを14回もしている。実は引越し魔なんですよ。でも武蔵野市には住み始めて13年目に入るのかな。もともと、武蔵野市が好きだったの。教育や福祉の環境は都内でも突出して優れていますからね。

住みやすいまちですね。何よりも道が気持ちよい。碁盤の目のようにすっきりと整っている。まちづくりを見ても、ビジョンを持って整備されているのが分かりますね。小さなお店がたくさんあるのも魅力。40年も昔からやっている店もあって、マスターとお友達になつたりとかね。商店街に血が通っている感じがします。

僕はワンちゃんを飼っていたから、いつも井の頭公園を散歩していたんですよ。湧き水の場所を自分のパワースポットに決めて、ちゃんとお参りしていた。そうしたら、テレビ出演などが増えて、あつという間に皆さんに知ってもらえるようになりました。ご利益ですね。「尾木ママ」という愛称も最初は嫌だったけど、皆さんに親しんでもらえるなら、今ではうれしいですね。

この街はとてもリラックスできる。脳がリラックスして、ぼーっとしたときに、いろんなアイデアが生まれてくる。僕は教育評論家として、調査を先行させながら研究をしているから、「こんなプロジェクトを立ち上げてみよう」と、アイデアが思い浮かんでいきますね。



だから、自宅も、事務所も、引越す予定はありません。気に入っちゃった。武蔵野市は子育てには抜群の環境があるから、子育て世代のみならずは、もう一歩前進して、自分たちでもよい環境になるよう行動していきたいでしょう。教育が進んでいるヨーロッパでは、行政に依存するのではなく、住民が主体なんです。住民が教育の核を創って、行政が後押ししていきます。武蔵野市には、そういった行動ができる土壌がある。

武蔵野市民であることを誇りに、さらに理念を高くして、国際的なモデルになるぐらいの気持ちでいきたいですね。応援するわよ！

## PRESENT

今回取材した尾木直樹さんの直筆サイン入り著書を抽選で3名様にプレゼント！詳しくは本誌折り込みハガキをご覧ください。

